

# 商店街名：東刈谷商店街協同組合（刈谷市）

キャッチコピー

**未来へ・希望との出会い!! 存在感ある商店街**

## ◎ 商店街の将来ビジョン（目指す未来の商店街の姿）

### ◇ 地域の状況（2025年度頃）

刈谷の一番東に位置する商店街で就労人口が多い地区です。65歳以上の方が徐々に増加し高齢化が進んでいる。エリア内にはJR東刈谷駅・野田新町駅の2駅が立地し国道23号線も通っており交通アクセスが良い。東刈谷駅・野田新町駅は通勤、通学者が多い。



### ◇ 商店街の姿

①東刈谷自治会とは毎年夏まつり・盆踊り・秋まつり（防災訓練）②野田自治会とは夏祭り盆踊り③半城土自治会とは秋まつりをコラボし継続維持を目指す。

「安心・安全・住み良い街」を合言葉に取り組み継承等を行う。東刈谷商店街は広域型商店街です。買い回りには向かないので、東刈谷にわざわざ来てもらえるような魅力ある個店の創出、発掘をする。

### ◇ 地域の状況（2030年度頃以降）

商店街の高齢化が進み、お店（店舗）が減少する一方、戸建て住宅の開発が進み、大型チェーン店舗が多く出店。一人世帯高齢者が多くなり買い物支援が重要になる。



### ◇ 商店街の姿

小店舗が開業できるような魅力ある街づくりに地域の皆さんと一緒に取り組み、新店舗として、存在感ある商店街組合員の加入に繋げる。高齢化社会に対応できるよう、高齢者の声を聞きながらイベントや企画の立案をし、商店街が「地域コミュニティの担い手」として地域に受け入れられる存在になる。

## ◎ 未来の商店街の姿に至る方法（プロセス） 【構想計画期間：2022年度～2025年度】

- 3地区自治会・公民館と定期的に交流し意思の疎通を深め、イベントをより良い企画に見直して実施。
- 各自治会のニーズに合った事業を実施。
- 高齢者、子どもが参加できるイベントを把握し、「存在感ある商店街」をコンセプトに進める。
- 未来プロジェクトチームを足掛かりに、商店街の若返り・代替わりを進めていく。

## ◎ 実行体制

### (1) 未来プロジェクトチーム

構成：若手店主3名を含む計5名

### (2) 地域プラットフォーム

名称：未来へ!!希望との出会いプロジェクト

目的：東刈谷商店街の未来へ、若手店主が積極的に問題を解決して、企画運営できるように実現に向かってすすめる。

参画：店主、地域住民 ほか

## ◎ 想定・把握している「商店街に対する地域ニーズ」

各地区自治会に商店街に求めることを聴取したところ、防災・防犯の役割を担うことであった。ここ数年新型コロナウイルス感染症に伴い開催できなかった夏祭り・秋祭りの企画に当たり、こうしたニーズを反映し、防災訓練や防犯パトロールなど取り入れた祭りになりたい。また、自治会の祭りの景品に東刈谷商店街の商品券を買って頂ける様になり、既に地域自治会と商店街の関係は深まってきている。